

みんなの願いは窓口無料 すすめる会ニュース 23-3号

2024年3月18日（月）

<http://www.n-syaho.com>

tel:026-219-6314 E-mail:naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

福祉医療給付制度の改善をすすめる会

（長野市県町593：長野県社保協内）

長野県 通院医療費助成を「中学3年」に 長年にわたる県民運動の成果

長野県は今年4月から、通院の医療費助成の対象を「小学校3年生」から「中学校3年生」まで拡大します。新年度当初予算方針として2月県議会で提案され可決されました。県としての年齢拡大は、完全無料化とともに私たちが求めてきたもので、県民運動と議会との連携で実現しました。これにより、市町村は別の子育て施策に財源を充てられるようになり、子ども医療費の完全無料化にも大きく道を開くものになります。



さらにすすむ「窓口完全無料化」（市町村）

長野市長「子ども医療費窓口無料化」検討を表明

県内では、3月現在76市町村が助成年齢を18歳までにしていますが、残り1市となった中野市では今年8月から18歳まで拡大し、さらに完全無料化を実施する予定です。これにより、長野県下でも全ての市町村が高校卒業までの医療費助成を実現し、窓口負担金を払う必要のない完全無料化も24市町村まで広がります。長野市では荻原市長が子ども医療費の窓口無料化を検討すると明らかにしました。3月定例会では、新婦人による「子ども医療費の受給者負担をなくし窓口無料化を求める請願」が福祉環境委員会で可決され、市長は再来年度実施の意向を表明しました。17日投票が行われた松本市選挙では当選した臥雲氏も選挙公約で18歳までの完全無料化を表明しています。中核市である二つの市が完全無料化を実施すれば、完全無料化市町村がさらに広がることが期待されます。すでに隣県の群馬県では、昨年県として18歳まで完全無料化を実施しています。長野県でも全市町村で18歳までの完全無料化を早期に実現し、県内どこに住んでも同じ助成が受けられるよう求めていきましょう。

福祉医療給付の改善をすすめる会総会・講演会のご案内

講演会 「いよいよ実現へ、子どもの医療費窓口完全無料化」（仮題）

講師 健和会病院医師 和田浩氏

長年の私たちの運動と議会連携で、県内全ての自治体で18歳まで医療費助成が実現します。窓口完全無料化も23市町村が実施し前進しています。講演では、小児科医師として子どもたちと向き合い、子どもと家庭の貧困問題に取り組んできた立場から、医療費無料化をめぐる動向を振り返り、今後求められる課題を考えます。

日時：5月26日（日）13:00～14:00（総会は講演に引き続き行います）

会場：長野県高校教育会館 本館2階中会議室（ZOOMとの併用）

お問い合わせ：福祉医療給付制度の改善をすすめる会 電話:026-219-6314

（ZOOM視聴は右のQRコードから ミーティングID:89392739476 パスコード:751344）

